

令和7年度 第1回静岡県森の力再生事業評価委員会 会議録

日 時	令和7年8月4日（月）午後2時から午後4時30分
場 所	静岡県産業経済会館特別会議室
出席者	○ 委員（敬称略・50音順） 恒友仁（委員長）、檜本正明（委員長代理）、浅見佳世、井上隆夫、木村美穂、倉田明紀、原田健一、増井昇、八重樫隆子、和久田恵子（10人） ○ 事務局（県側出席者） 浅井農林水産統括部長、中山森林・林業局長、深江森林計画課長 他
議 事	1 開 会 2 挨拶 3 議 事 議事① 森の力再生事業評価委員会の開催計画案 報告① 令和6年度評価委員会の提言への対応報告 報告② 令和6年度事業実績の報告 議事② 令和6年度事業分の評価対象箇所の選定案 4 そ の 他 5 閉 会
配付資料	○ 次第、出席者名簿、座席表 ○ 配布資料 ・資料1：森の力再生事業評価委員会の開催計画案 ・資料2：令和6年度森の力再生事業評価委員会の提言への対応報告 ・資料3：令和6年度森の力再生事業実績の報告 ・資料4-1：令和6年度事業分の評価対象箇所の選定案 ・資料4-2：令和6年度実績一覧表 ・資料4-3：令和6年度森の力再生事業評価対象箇所位置図

令和7年度 第1回静岡県森の力再生事業評価委員会 会議録

日時：令和7年8月4日（月）14時～16時30分

場所：静岡県産業経済会館特別会議室

（産業政策課櫻井課長）

定刻となりましたので、ただいまから、令和7年度第1回静岡県森の力再生事業評価委員会を開催いたします。

私は本日司会を務めさせていただきます、静岡県経済産業部産業政策課の櫻井と申します。よろしくお願いいたします。

それでは着座にて失礼いたします。

本日の委員会ですが、ペーパーレスでの開催となります。

資料はお手元のタブレットで御覧いただきます。

議事進行中に、操作等につきまして、御不明な点や不具合がございましたら、挙手等で事務局にお知らせください。

それでは、委員会の開催にあたりまして、静岡県経済産業部農林水産統括部長から御挨拶申し上げます。

（浅井農林水産統括部長）

皆様、こんにちは。

農林水産統括部長の浅井でございます。

よろしくお願いいたします。

委員の皆さんにおかれましては、本日は御多忙の中、またこのようにお暑い中、当委員会へ御出席いただきまして誠にありがとうございます。

また、この度は、第9期森の力再生事業評価委員ということで、御就任をいただきまして、心より御礼申し上げます。

本当にありがとうございます。

森の力再生事業は、平成18年から県民の皆様から「もりづくり県民税」を御負担いただきながら、荒廃森林の再生に取り組んでまいりまして、本年は第2期計画の最終年度を迎えます。

10年間の整備目標であります1万1,200ヘクタール。

この整備目標に対しまして、86%を昨年度末までに完了したということで、ほぼ計画通りの

進捗となっていると認識しております。これにつきましては、これまでも評価委員の皆様から「もりづくり県民税」の使途、それから事業効果を検証、評価をいただきまして、より一層の透明性の確保や県民の皆様の御理解を得られるよう努めてまいりました。

昨年度、評価委員会の皆様から御報告いただきました第2期の中間とりまとめでは、事業に対する一定の評価をいただき、一方では、広葉樹の定着に向けた維持管理等の課題について御意見もいただきましたので、適切な手法等をこれから検討を進めてまいります。

また、このとりまとめの中では、新たに確認ができた荒廃森林について、その再生に取り組んでくださいとの御意見をいただいたところでございます。

この点につきましては現在、県民の皆様から御意見を伺っているところでありまして、これらを踏まえ、県として今後の対応について検討を進めるところであります。

さて、本日は、令和7年度第1回目の評価委員会となります。

議題といたしましては、昨年度いただいた御提言の対応や事業実績の報告、評価対象箇所を選定について御審議を予定しております。

委員の皆様には、事業に対する御意見等につきまして、それぞれ御専門の立場から忌憚のない御意見を賜りますようお願いしたいと思っております。

本日は長時間の御審議となりますが、よろしくお願いいたします。

（産業政策課櫻井課長）

続きまして、委員の皆様の御紹介につきましては、お手元の会議資料のうち、次第の次のページの委員名簿に代えさせていただきたいと思っております。

なお、今年度から新たに増井様、八重樫様、和久田様に御就任いただいております。

委員の皆様には本年6月に委員に御就任をいただきました。

任期は令和7年6月12日から令和9年6月11日までの2年間となります。

委員の皆様には、それぞれのお立場から忌憚のない御意見を賜りますよう、よろしくお願いいたします。

議事に入る前に、本日の委員会の成立要件について報告します。

本日は、委員全員の方が出席しております。

森の力再生事業評価委員会設置要綱第5条第2項の規定に照らし、出席者は委員の過半数を超えていることから、本委員会は成立していることを報告します。

なお、県側の出席者につきましては、委員名簿の下段に記載の通りです。

また、本委員会は、県が定める情報提供の推進に関する要綱に基づき、公開対象となっております。議事内容につきましては、録音し、議事録を作成します。

議事録は後日、皆様に御確認いただいた上で、県のホームページで公開します。

あらかじめ御了承願います。

また、本日は委員の改選後初めての委員会となりますので、初めに委員長をお選びいただきたいと思います。

委員長につきましては、森の力再生事業評価委員会設置要綱第4条第2項の規定により、委員長は委員の互選によりこれを定めるとしております。

どなたか御推薦をいただけますでしょうか。

(井上委員)

恒友委員にお願いするのがよろしいかと思います。

(産業政策課櫻井課長))

ただいま、井上委員から恒友委員の御推薦がありました。

それでは、恒友委員に委員長をお願いしたいと思います。委員の皆様、よろしいでしょうか。

(一同)

異議無し

(産業政策課櫻井課長)

ありがとうございます。

それでは、恒友委員におかれましては、委員長として2年間よろしくお願いいたします。委員長席への移動をお願いいたします。

次に、委員長代理の指名をお願いします。

委員長代理につきましては、森の力再生事業評価委員会設置要綱第4条第4項の規定により、委員長に事故があるときは、委員長があらかじめ指名する委員がその職務を代理するとしております。恒友委員長、御指名をお願いいたします。

(恒友委員長)

はい。それでは、委員長代理に檜本委員を御指名させていただきたいと思います。

檜本委員は、森林に関する知見は豊富です。これまでの評価委員会の実績もございます。

そのため、委員長代理としてふさわしいと思いますけれども、いかがでしょうか。

(一同)

異議無し

(産業政策課櫻井課長)

檜本委員よろしいでしょうか。

(檜本委員)

はい。

(産業政策課櫻井課長)

ありがとうございます。

それでは、委員長代理として2年間よろしくお願いいたします。

委員長代理席への移動をお願いいたします。

それでは、委員長、委員長代理から一言ずつ御挨拶をお願いします。

(恒友委員長)

皆さん、こんにちは。

改めまして、今回、委員長に御指名いただきました静岡経済研究所の恒友でございます。

私は、2019年の第6期からこの委員会に参加しまして、第7期から小南委員長のもとで、委員長代理を2期務めさせていただきました。正直に申しまして、森林に関しては専門性はないのですが、委員長代理の頃は、森林に関する専門性の高い委員長のもとで、議事・運営のサポートを担っていたと考えております。

引き続き、森林に関する専門性については、檜本委員長代理にお任せするとして、議事、運営をしていきたいと思っております。

振り返ってみますと、この評価委員会の第1期の委員長も私が所属する経済研究所の者が担っていたということもあります。今期は、改めて基本に立ち返ることが大事であり、その履行の役目を担っていると思っております。

当委員会設置要綱に委員会の目的として「事業の内容を明らかにし、その透明性を確保すること」とあります。このことを念頭に置きながら、委員会を運営できたらと考えています。なにぶん、不手際があるかもしれませんが、その都度、御指摘をいただけたらと思っております。今後とも、よろしくお願いいたします。

(檜本委員長代理)

こんにちは。静岡大学の檜本と申します。

委員長代理ということで御指名いただきまして、微力ながらサポートさせていただければと思っています。

私は、委員の経歴が短く、途中から委員を担っているのですが、当初から非常に意義のある事業だと感じております。いろいろな状況を聞く中で、なかなか 100 点を最初から取れないと思うのですが、少しでも良い事業となるように私も願いながら委員として参加させていただいております。

県庁の職員の方々は、大変だと思います。私も耳の痛いことを発言することもあるかと思いますが、全体としては事業が少しでも良くなることを期待して御協力させていただきたいと思っています。

(産業政策課櫻井課長)

ありがとうございました。

それでは、これから議事に移ります。

今後の進行につきましては、恒友委員長にお願いいたします。

(恒友委員長)

それでは、次第に従って議事を進めたいと思います。

予定では長時間となっておりますが、極力、効率的に議事を進めていきたいと思いますのでよろしくお願いいたします。

それでは、初めに議事①「評価委員会の開催計画案」について、事務局から御説明をお願いいたします。

(産業政策課栗原主任)

事務局の栗原です。

よろしくお願いいたします。

評価委員会の開催計画案について、御説明いたします。

1 ページ目の資料 1 を御覧ください。

本年度は、評価委員会を 3 回、現地調査を 1 回、計画しております。

第 1 回委員会では、この後、報告①「令和 6 年度評価委員会の提言に係る対応報告」、続いて、報告②「令和 6 年度事業実績の報告」、続いて、議事②「令和 6 年度に事業を実施した箇所のうち、本年度評価いただく対象箇所の選定」についての御審議を予定いたします。

続いて、第2回委員会では、今回の委員会で選定されました事業対象箇所について検証を行います。現地調査では、令和6年度事業や過年度に実施しました整備箇所について、現地にて確認を行っていただきます。本年度の調査箇所につきましては、現在、検討中ですので、第2回委員会でお諮りいたします。

最後に、第3回委員会では、令和4年度事業及び経過観察箇所について状況報告をさせていただきます。検証・評価の上、今年度の事業評価及び提言内容について取りまとめを予定いたします。

以上、説明を終わります。

（恒友委員長）

はい、ありがとうございました。

今回の開催計画ですが、前年度とあまり変わってない認識でございます。

ただいま、御説明ありましたけれども、この件につきまして御質問、御意見等ございますでしょうか。よろしいでしょうか。

それでは、今年度の評価委員会は、事務局案のとおり進めるということでよろしいでしょうか。

（一同）

同意

（恒友委員長）

それでは、皆様の御協力をお願いいたします。

次に、報告①「令和6年度評価委員会の提言への対応報告」につきまして、事務局から説明をお願いします。

（森林計画課奥山班長）

森林計画課の奥山です。

よろしくお願いします。

私からは、令和6年度の提言への対応について報告させていただきます。

資料は2ページ目の資料2になります。

提言の対応について、とりまとめております。

具体的な取り組みについて報告させていただきます。

昨年度、評価委員会からこちらの5つの提言をいただきました。

それぞれの今年度の対応について説明していきます。

提言 1「事業の効果が最大限に発揮されるよう、他の関連施策、市町との連携や民間との協働を継続し、優良事例の普及に努めてください」との提言をいただきました。

県では、農林事務所ごとに設置している森の力再生調整会議を通じて、他部局及び市町が実施する関連施策との連携や民間との協働による森林整備を推進しているところであります。

令和元年度に房総半島において台風による大規模停電が発生したことは記憶に新しいところではありますが、大規模停電の原因の一つである風倒木による電柱の倒壊や断線等への対応として、県では、電力業事業者と協働して電線沿いの樹木を伐採する「予防伐採」の取り組みを進めております。

令和 6 年度は、中遠地域を中心に 6 件の予防伐採を実施いたしました。

写真は菊川市で実施した整備の事例です。

実施にあたっては、事前に中部電力との協議を行い、電線の保護を中部電力が行う形でサポートをいただき、安全かつ円滑に事業を進めることができました。引き続き、電力会社等と連携して、森林整備を推進してまいります。

また、このような優良事例をとりまとめ、農林事務所で開催する会議で、林業事業体に配布、普及に努めてまいります。

また、森の力再生事業では、伐採木の流出防止を重点に行う森林整備にも取り組んでおります。本事業における流木発生源対策ですが、左の図の青丸で示しました、流木被害を受けやすい漁港等の上流域を赤丸で示したように、この上流域を流木発生源対策重点区域と位置付け、重点的に事業を実施しているところであります。

昨年度は 46 件を重点地域で事業を実施いたしました。

今年度も引き続き、上流域の森林整備に取り組んでまいります。

次に、提言 2「事業実施に係る技術力の向上や作業安全の確保に取り組んでください」との提言をいただきました。

左のグラフは、森の力再生事業での事故発生件数です。

昨年度は 6 件の事故が発生しました。

発生件数は依然として多く、まだまだ改善が必要な状況となっております。

昨年度に発生した 6 件の事故のうち 5 件が、かかり木処理に関する事項であったことを踏まえ、適切なかかり木処理をテーマとした安全講習会を 6 月から 7 月にかけて、東部、中部、西部の 3 地域で実施いたしました。

講師の方々の「刻々と変化するかかり木の状況に応じて、場面ごと適切に判断する能力を養うこと」とのアドバイスを元に、実際にこの時点で何に注意すべきか、1 つ 1 つの作業を丁寧に指導していただきました。参加者からは、細かい指導を受ける機会はなかなかなく、大

変勉強になった、との感想をいただきました。

引き続き、日々の安全指導に加え、講習会を開催する等、労働災害の撲滅に取り組んでまいります。

次に、提言3「納税の一層の理解促進を図るため、ソーシャルメディア等を活用して、事業の目的や効果について、正確かつ分かりやすい情報発信に努めてください」との提言をいただきました。

こちらの提言につきましては、整備地を活用した荒廃森林の整備効果を実感できるイベントの開催やSNSによる幅広い年齢層に向けた情報発信に取り組んでまいります。

左上の写真は、志太榛原農林事務所で実施した森の力再生事業の整備地を活用した森林（もり）づくりのイベントの様子です。

今年度も、整備地を活用した同様のイベントを秋頃に各農林事務所で計画しております。加えて、県庁でも森と川や海とのつながりを実感できるような現場体験ツアーを複数回企画しております。

これらのイベントを通して、森林整備や事業の重要性を伝えていきたいと思っております。

また、現場でのイベントだけではなく、不特定多数の県民が参加されるイベントでのPRも引き続き、行ってまいります。

左下の写真は、昨年11月に開催された安倍川流木クリーン祭りにブースを出展したときの様子です。このイベントには、地元企業や地域の小中高生の方等が約900人参加され、多くの方がブースに立ち寄ってくれました。

1人でも多くの人に森の力再生事業を知っていただけるよう、地道ではありますが、これらの活動を通じて働きかけていきます。

また、右側のようにイベントの告知や実施状況の報告について、SNS等の広報ツールを活用して幅広い年齢層に向けて発信していきます。

今年度、森の力再生事業は10年間の第2期計画の最終年度を迎えます。

県民の皆様これまでの事業の成果をお伝えするために、5月から6月にかけて県内各地で合計30回のタウンミーティングを開催し、多くの県民の皆様に御参加いただきました。

事業に対する主な意見として「森林の中が明るくなり、森林所有者も喜んでいる」「事業の成果や森林環境譲与税等の違いをしっかりと広報するべきである」「人工林や竹林等整備されていない森林がまだまだあるので、事業継続してほしい」といった御意見をいただきました。

た。また、若年層への事業のPRや意見交換を目的に、県内の大学や高校、計4校の学生に御参加いただき、キャンパスミーティングを実施いたしました。

参加いただいた学生からは、森の力再生事業の今後の向けた意見のほか、放置竹林の問題や生物多様性に関する意見等、日頃感じている課題を踏まえながら、より良い森林（もり）づくりに向けた前向きな意見や提案を多数伺うことができました。「このキャンパスミーティングをきっかけに、事業のことを知ることが良い機会になった」等の感想をいただいたところです。今後も若者の意見を聞き取る機会を設けてまいります。

なお、本企画の実施にあたりましては、浅見委員と増井委員に調整等の御協力をいただきました。この場をお借りして、御礼を申し上げます。

次に、提言4「事業の適正な運用の徹底を継続してください」との提言をいただきました。こちらの提言につきましては、県の担当者及び整備者が事業をしっかりと理解した上で、取り組む必要があるという背景から提言をいただいたものです。

令和3年度に発生しました森林所有者の確認に際し、丁寧さを欠いていたことから、合意形成については、特に徹底するよう取り組んでおります。

左側の画像は、令和4年度から補助金の申請書に添付することとした確認書です。

権利者が整備者から事前に事業に係る説明を受け、理解したことがわかるよう、口頭での承諾ではなく、サインをいただくようにいたしました。

右側の写真は、権利者と整備者は協定に基づき、10年間、整備地を管理していかなければならないので、補助金に係る書類等、関係書類が管理されているかを確認しているところです。県の担当者も整備者の担当者も、年々変わりますので、引き続き、取り組んでまいります。

最後になります。

提言5「事業効果の適正な評価に努めるとともに、これまでの知見を踏まえ、より効果的な森林整備に取り組んでください」との提言をいただきました。

こちらの提言につきましては、整備者による整備後3年目調査に“ばらつき”が見られることが背景でいただいた提言であります。

令和5年度から植生回復度の研修会を実施し、適正な評価ができるよう取り組んでおります。また、過去の整備事例から、より効果的な森林整備に結びつくよう、森林・林業研究センターを中心に、現地調査等で事例検証を進めているところであります。

引き続き、適切な評価ができる取り組みと効果的な森林整備に向けた取り組みを進めてま

います。

以上が、令和6年度にいただいた提言に対する今年度の取り組み内容となります。

（恒友委員長）

はい、ありがとうございました。

ただいまの御報告につきまして御質問、御意見等ございますでしょうか。

（和久田委員）

かかり木の意味と、それから譲与税との違いについて具体的に教えてください。

（森林計画課橘川技監）

森林計画課の橘川と申します。

かかり木について、樹木が2メートル間隔で立っていたとしまして、木を切った時、想定していた方向にまっすぐ地面に倒れれば良いのですが、隣接する木々やその先の木に引っかかり、不安定な状況になる場合があります。それが、かかり木と言います。

かかり木を安全に地面まで倒すことは、林業の中では非常に危険な作業であり、重要な作業工程となっています。

もう1点は、森林環境譲与税の関係でスライドを用いて御説明いたします。

タウンミーティング時にも説明しております。県の「もりづくり県民税」と名前が似てののですが、国が徴収している森林環境税というものが始まっております。

国の森林環境税は、主に市や町が活用しているのですが、それとの役割分担、協力体制等をしっかり示すようにといった内容です。

それでは、スライドの下の方を御覧ください。

こちらが、森林環境税を活用している市や町と静岡県との役割分担を示します。

この上流域にある森林は、その下流の市町に影響を及ぼします。そのような森林で、かつ急いで整備しないと影響が大きい場所を県が整備をしております。市や町は、国の森林環境税を活用しまして、身近な人家裏や里山林等を整備しており、県と市町で協力しながら取り組んでいるところですが、「違いがわかりにくい」「もっと説明した方が良いのではないか」等の意見をタウンミーティングでいただいたところです。

（和久田委員）

ありがとうございます。

わかりました。

(恒友委員長)

ありがとうございます。

今の和久田委員の御質問というのは、まさに県民全体に関わるお話だと思います。

前期でも同様の話を評価委員会でしており、どのようにすれば県民にわかりやすく伝わるのかというところの意見がでておりました。県民への周知の点は、これからも取り組んでいかなければいけない課題だと、こういう話だと思います。

ありがとうございました。

それでは何かございますでしょうか。

浅見委員お願いします。

(浅見委員)

提言1のところで流木対策についてです。

港湾への影響をできるだけ少なくするという中で、流木対策をされてるということですが、この地域で重点的に取り組んでいるという図があったと思います。もう一度、御説明いただきたいと思います。これは優良事例であると理解すれば良いのでしょうか。

(森林計画課橘川技監)

流木対策の事業については、他機関の連携の事例ということで御説明させていただいております。図のエ、オ、カの丸で示している箇所には漁港がございます。漁港に至るまでの河川に例えばダムがないなど、山からストレートに水が流れ出ている地形を背負っている漁港の上流部の山を対象に、整備していく必要がある重点地域として位置づけまして、事業に取り組んでいる説明になります。

(浅見委員)

ここは、伊豆のあたりでしょうか。

(森林計画課橘川技監)

そうです。

(浅見委員)

そうですね。

本当にここで整備しないと、森林から流木が流れ出ているのでしょうか。

(森林計画課橘川技監)

山腹崩壊や山崩れが起きた場合は、その土砂を伴って、立木が流れ出してしまう恐れがある

と考えておりますが、山中の間伐した木が、通常の雨であれば、流れ出すことはないです。

（浅見委員）

そうですね。わかりました。

現地を確認させていただいてる限り、丁寧に皆さん横に置いていらっしゃる。

森の力再生事業でない整備地でも、横に並べていらっしゃいますので、流木の場合は、大概の山腹崩壊や土砂崩れ等により発生するものでないかと思っています。

その時に、伐採の方法が悪くて流れ出ているのか、山腹崩壊に伴って土砂ごと流れ出ているのかは、分けて県民の皆様の説明された方が良いと思います。

整備者はしっかりと整備しているが、それでも耐え切れずに山腹崩壊してしまっているといったような形で分けて説明した方が理解は進むのではないかと思います。

ありがとうございます。

（恒友委員長）

その他いかがでしょうか。

お願いします。

（増井委員）

はい。今回から就任しましたので確認させていただきたいのですが、提言3「納税の一層の理解」ということに関してですが、確かに周りの方々に聞いてみると、そもそも納税していることすら知らない人が多いかと思っており、重要な事項だと思います。

納税の理解ということですので、基本的には納税している世代である20代以降の方を対象としてイベント開催されているのか、または今後の未来世代ということで親子で楽しめるイベントに見えるのですが、子ども向けのイベントを開催されているということで、どの世代を対象に重点的に取り組んでいるのでしょうか。

（森林計画課橘川技監）

イベント企画の際は、森の働き体験ツアーというような形で親子連れをメインターゲットにして開催しています。その他、納税されていない学生を今年度は特に重点を置いて御意見を伺ったところです。

（増井委員）

ありがとうございます。

学生を対象にということで、実際に大学で教えていると、荒廃森林でもとりあえず緑があれ

ば良いのではないかと思ってる若者がいます。実際に現場を見ると、なんとなく綺麗になっ
てるのはわかると思うのですが、森の力再生事業で考えますと、例えば、二酸化炭素の吸収
量がどれくらい違うのかというのを観測等を通じて実感できるイベントがあるとより一層
理解が深まるのではないかと意見を持ちました。
以上です。

(恒友委員)

ありがとうございました。

納税の理解は、每期、議論に出てくるのですが、いかに若者までを広げていくかは、これか
ら重要な点だと思います。

その他よろしいでしょうか。

(橋本委員長代理)

2点です。今後のスケジュールについて、御質問させていただきます。

1つ目は、提言3のタウンミーティングの開催について簡単に説明していただいたところで
すが、どこかのタイミングで改めて全体の状況を評価委員会の中で御説明いただく機会
はありますでしょうか。

(森林計画課橘川技監)

最後にタウンミーティングの概況をお伝えしようと考えておりました。

現状、とりまとめの最中ではありますが、おおよその方からは「この事業については評価で
きる」「今まで県が取り組んできたことは評価できる」という御意見をいただいております。

では、用意していたスライドにて説明させていただきます。

タウンミーティングの結果概要ですけれども、30ヶ所でタウンミーティングを実施し、御
意見を伺いました。そのほか、学校でも実施しております。

主な意見としては、先ほど御説明した通りですが、「事業の成果」「事業による効果を評価し
ます」ということ、「広報をしっかりと実施すること」「ぜひ事業を今後も継続してほしい」
という意見が大勢を占めました。タウンミーティングの結果については、その他の意見をい
ただいております。全てとりまとめの上、ホームページの方で公開するように考えておりま
す。

この他の意見聴取としましては、無作為抽出のアンケートや経済団体、市町長に意見を伺っ
ているところです。こちらについてもとりまとめの上、後日公表します。

(橋本委員長代理)

ありがとうございます。もう1つの質問です。

提言5の一番下に記載の「調査データ等から」の箇所ですが、私も強くこれを希望するところでもあります。要因を分析して、整備方法について、より効果的な方法の試行を進めるということが書かれています。これについては、どのようなタイムスケジュールでしょうか。いつ頃に要因分析がされて、新しいことがどのくらいで始められるのかタイミングを教えてください。

(森林計画課橘川技監)

要因分析のスケジュールについては、この後、森林・林業研究センターから補足させていただきます。「効果的な森林整備方法の試行を進める」につきましては、今年度の事業の中で、部分的にシカ対策がとれないかどうか、森林全体をシカ柵で囲む方法ではない手法で何か試行ができないかを、検討していきたいと考えております。

(橋本委員長)

ありがとうございます。

(森林・林業研究センター榑原技監)

森林・林業研究センターの榑原でございます。

先ほどの提言への対応のことですが、現場で大きく分けて、南伊豆、静岡市と島田市の整備地で植生回復度がAではなく、BまたはCランクだと聞いております。

今年度に入り、5月に森林計画課と一緒に南伊豆と島田市に現地確認をしております。

今月、静岡市の現地に行く予定です。全て確認した段階で、森林計画課と話す中で、今後の方針を決めていく予定です。

南伊豆と島田市では、途中経過ですが、シカの食害を繰り返し受けていると聞いておりますので、シカの対策が大事になってくると思います。また、近隣の柑橘系の畑においてもシカの食害を受けているという話もあります。シカの対策は、やはり1つ大きな課題になっていると認識しているところです。

以上でございます。

(恒友委員長)

ありがとうございます。

(恒友委員長)

今、説明にありましたタウンミーティング、キャンパスミーティング、それから事業効果の

適正な評価について、それぞれ単発で終わらせることなく、しっかり中身を評価、分析し、今後の荒廃森林の整備に繋がるようしっかり詰めていただきたいと思います。

その他、何かございますでしょうか。
よろしいでしょうか。

最後に全体通して、質問の時間がありますので、もし気づいたことがあれば、その際にお願いいたします。

それでは、この対応報告につきましては、引き続き、事業を着実に実行していただくということをお願いいたします。

次に、報告②「令和6年度事業実績の報告」について事務局よりお願いいたします。

（森林計画課奥山班長）

はい。それでは資料3、3ページの事業実績の報告をいたします。

まず、上段の表になります。令和6年度は、人工林再整備事業を1,300ヘクタール、倒木処理を16ヘクタール、竹林・広葉樹林等再生整備を17ヘクタール、合計1,333ヘクタールを整備いたしました。平成28年からの9年間で9,669ヘクタールを整備しまして、全体計画1万1,200ヘクタールに対し、86%の進捗率となっております。

下段の表は、事務所別実績を示したものです。
全ての事務所において前年を上回る事業量となっております。

4ページの事業費です。

整備に使った事業費は12億6,000万円。そのほか、広報費等に700万円を活用させていただいております。県民広報等の内容といたしましては、主にノベルティの作成等に100万円を活用させていただきまして、商業施設等においてPRを実施し、事業と税の周知を図ったところであります。

全体で500人余りの方々にPRができたと考えています。

調査では、モニタリング調査等で500万円を活用させていただきましたが、こちらの方はしっかりと事業評価を図るための必要なものと考えておりますので、引き続き、取り組んでいきます。

(産業政策課栗原主任)

5 ページ目、4 の森の力再生基金第 2 期実績の資料を御覧ください。

森の力再生基金は、森の力再生事業の実施のため、「静岡県もりづくり県民条例」に基づいて平成 18 年 4 月から、個人の場合は県民税均等割に年間 400 円、法人の場合は資本金に応じた均等割額の 5 %、1,000 円～40,000 円の超過課税を負担していただいているところです。

こちらの表は、平成 28 年度から令和 6 年度までの基金収支を示したものです。

太枠で囲っている箇所が令和 6 年度の実績です。

令和 6 年度は、前年度からの繰越額が約 6 億 6 千万円、個人や法人県民税等の税収等が約 10 億円、前年度税収との差額等がマイナス 4 百万ほどであり、合計で 16 億 6,800 万円が基金に積立てられました。

そこから、先ほど報告がありましたとおり、令和 6 年度の森の力再生事業の実績額 12 億 6,610 万円が事業費として取り崩していることから、残額は 4 億 268 万円となっています。

この残額につきましては、令和 7 年度に繰り越し、引き続き、森の力再生事業の事業費にあてられます。

以上で、事務局案の説明を終わります。

(恒友委員長)

ありがとうございました。

ただいまの御説明に対しまして、御意見、御質問等ございますでしょうか。

(木村委員)

はい、木村です。

去年の評価委員会で、10 年間の全体計画で遅れについて説明があったと思うのですが、令和 6 年度を終えて、その遅れはどうなっているのか。最終年度の令和 7 年度で、100%達成されるのか見込みを教えてください。

(森林計画課奥山班長)

3 ページ目の下段の表、一番下の全体の事業量について、1 万 1,200 ヘクタールを 10 年間で計画しており、年間約 1,100 ヘクタールの整備を予定しております。

令和 2 年度までは、ほぼ計画通りでした。ただし、コロナ禍の時期にあたりまして、令和 2 年は、森の力再生事業に注力する事業体が多かった一方で、丸太の生産が止まっていた状況でした。その後、丸太を生産する必要が生じ、令和 3 年と令和 4 年は丸太の生産に注力されたことにより、森の力再生事業の事業量が落ち込みました。

令和５年度に約 200 ヘクタール事業量が多くなっております。そこから、今年に向けて 300 ヘクタールぐらい増えてきております。

今年も順調にスタートを切っておりますので、この令和 7 年度目標量の 1 万 1,200 ヘクタールは達成できるのではないかと試算しております。

（恒友委員長）

はい。その他いかがでしょうか。

それでは、私から資料の 5 ページの右下ですが、令和 6 年度末で基金残高は 4 億強ございますけど、最終年度を終えたらどうなるのでしょうか。

（森林計画課橘川技監）

事業の進捗のことを申し上げましたが、事業が計画通りに実施できれば、基金は、ほぼなくなると考えております。もし残ってしまった場合は、別途考える必要がありますが、例えば、評価委員会は、今年度で事業が終了した場合においても、数年は事業評価をいただくことになると考えています。そのような形で活用させていただければと思います。

（恒友委員長）

はい。この原資は税金ですので、無駄にすることはいけないという思いです。

去年もそのような話をさせていただいた気がしますが、決して、余ってるから全部使ってしまうとかではなく、適正な税金の使い方をしてもらいたいですし、最終年度を終えて余った場合に、しっかり説明がつくような形で着地をしてもらいたいと思います。

その他、何かございますでしょうか。

よろしいですか。

はい。

それでは、引き続き、事業を着実に実行していただくということでお願いいたします。

次にですね、議事②「令和 6 年度事業の評価対象箇所の選定案」について事務局より御説明をお願いいたします。

（産業政策課栗原主任）

令和 6 年度事業に係る評価対象箇所の選定について、御説明いたします。

森の力再生事業評価委員会では、前年度に実施した箇所について、評価・検証していただいておりますので、評価対象箇所の選定をお願いいたします。

資料 4 の 1、6 ページを御覧ください。

あらかじめ、事務局から選定案を用意いたしましたので、御説明します。

1 の令和 6 年度の実施箇所数の表を御覧ください。

令和 6 年度の実施箇所数は、人工林再整備事業のうち、緊急性を有する人工林で環境伐を実施する一般型が 120 箇所、風倒被害地の緊急的な倒木等の処理を実施する災害対応型が 9 箇所、緊急性を有する竹林・広葉樹林での整理伐を実施する竹林・広葉樹等再生整備事業が 14 箇所、計 143 箇所を実施いたしました。

続いて、2 の評価対象箇所の選定の項目を御覧ください。

次の①から⑤の基準により、30 箇所を評価対象として選定しております。

事務局では、①事業実施にあたりトラブル等があった箇所、②事業規模が大きい箇所、③事業単価が高額な箇所、④多くの整備者を選定する、⑤列状伐採を実施した箇所の 5 つの基準により評価対象箇所を選定いたしました。

この結果を 2 の（2）評価対象箇所数に示しております。

選定した箇所を地域別、事業種別に明記しております。

内訳は、一般型 23 箇所、災害対応型 3 箇所、竹林・広葉樹等再生整備事業 4 箇所、計 30 箇所となります。

次の 7 ページが、選定した箇所の一覧となります。

次の 9 ページの資料 4 の 2 は、全事業箇所の一覧表となります。それぞれ、一般型、災害対応型、竹林・広葉樹等に分かれておりまして、事務局案で選定した箇所は、一番左の番号欄に丸印をしております。

各箇所の選定にあたり、考慮した基準につきましては、

事業規模の大きい箇所として選定した場合は、面積の部分に赤丸を付けてあります。

事業単価の高額な箇所として選定した場合は、単価の部分に赤丸を付けています。

例えば、9 ページ目を御覧ください。

人工林再生整備事業の単価の高い箇所としましては、番号 16 を選定しており、事業区分の列の単価に赤丸を付けています。

続きまして、資料 4 の 3 は、評価対象箇所の位置図となります。資料 4 の 2 の一覧表にあわせた番号を振り、事業種別に色付けしております。事務局案の選定箇所は、丸及び番号で

明記しております。

以上で、事務局案の説明を終わります。

御審議の程、よろしくお願いいたします。

（恒友委員長）

ありがとうございます。

この場で資料を見ても、なかなか出てこないかもしれませんが、じっくり見ていただいて何かあればと思いますが。

木村委員お願いします。

（木村委員）

もしあれば教えていただきたいのですが、去年の現地確認の際に、森の力再生事業の整備地付近で、森林環境譲与税を活用した整備事業があり、森の力再生事業と連携した初めての取り組みであったと説明をいただいたのですが、令和6年度も同様の整備箇所はありますでしょうか。事務局では把握できてないのでしょうか。

森の力再生事業のみですと限られた場所になってしまうということで、組み合わせて事業を実施することによって、広範囲を一体的に整備できることはすごく魅力的だと思います。せっかくそれぞれの事業があるので、そういう箇所が増えてくると良いと考えています。

（森林計画課橘川技監）

そのような視点で把握はしていない状況です。

農林事務所の方でも、詳細まではわかりかねるところで申し訳ありません。

（木村委員）

はい。わかりました。

（恒友委員長）

この件については、また調べた結果を回答いただけるということでよろしいですか。

（木村委員）

森の力再生事業と環境譲与税を活用した整備事業の担当者間でやりとりはあるのでしょうか。現場で作業する方たちしかわからないのでしょうか。

（森林計画課奥山班長）

市町との調整会議もあるので共有はされています。ただし、事業を実施した時期が異なっていると確認されていない可能性もありますので、これから隣接して実施した事例があるか確認させていただきます。

（恒友委員長）

倉田委員、お願いします。

（倉田委員）

倉田です。

現地確認の対象についてです。

資料４の２の災害対応型、13 ページになりますが、一般型と比べると、完全に単価で飛び抜けて高いです。それはよくわかります。災害対応なので。

今まで、災害対応型の現地は見たことがなかったような気がします。

リストの中の特に９番は、面積も小さいですし、かなり特殊な災害対応ではないかと思いますが、この一般型に加え、是非、災害対応型については、やはり防災とは切り離せないものだと思いますので、現地確認の対象に入れていただきたいと思います。

（産業政策課栗原主任）

御意見ありがとうございます。

ただいまの意見を踏まえまして、第２回委員会の際に現地調査案をお示しいたしますので、その際に確認いただきたいと思います。

（恒友委員長）

はい、ありがとうございます。

私も倉田委員の意見に賛成します。

自然災害において、昨今被害が大きくなっていることもあります。今後もそういう機会が増えてくる可能性がある中で、そういう視点はこれからもっともっと大きくしていかなければと思います。この調査にしてもそのような視点が入ってくると良いです。

その他いかがでしょうか。

（檜本委員長代理）

先ほど木村委員から森の力再生事業と森林環境譲与税を活用した整備事業で連携したところがあったと、もちろんそのような整備地はあると思うのですが、委員会の初めに、両事業の区分けについて説明があった時に森の力再生事業は上流で、森林環境譲与税を活用した

整備事業は下流で実施しているということで、物理的にそこが隣接することは少なく、特殊な例だと思います。

ですので、次回、この区分も含めて説明をいただければと思いました。

（森林計画課橘川技監）

両事業の協力体制ですが、例えば、森の力再生事業を実施する箇所があり、近接した箇所に森林があったとします。森の力再生事業の要件では、下層植生の状況や立木の密度等があり、近接した箇所の森林では事業の対象にならない場合がありますので、そのような森林を連携して一体的に整備する等方法はあるのかと思います。市町の工夫により整備している箇所があれば御案内させていただきます。

（恒友委員長）

よろしいでしょうか。

いずれにしても、調査に関しては形式的にやるのではなく、調査も実効性を高めるということはポイントだと思います。その視点が良いかと思います。

その他よろしいでしょうか。

（浅見委員）

資料4の2について、面積のところで赤丸がついているのは、面積の要件からということですが、一番上の行で丸が付いているものがわかるとして、離れて丸が付いているのはあまり上がってこなかった事業体という理解でよろしいでしょうか。

（産業政策課栗原主任）

例えばですが、1枚目のページ番号1を見ていただきまして、1には面積のところがございます。3番目見ていただきますと伊豆森林組合13.24ヘクタールと、面積で言えば3番目となります。ただし、整備者を見ても伊豆森林組合であり、1番で選定しております。基準では、多くの整備者の整備箇所を確認いただくとしておりますので、6番目のいなくさ林業の8.87ヘクタールを3番目の候補にあげさせていただいております。

（浅見委員）

ありがとうございます。

（恒友委員長）

その他いかがでしょう。よろしいでしょうか。

この表は、つぶさに見ても時間かかると思います。後で、これだと思う箇所が出てくる可能

性がありますので、そうした場合、事務局に御一報いただけたら回答が得られると思います。これで、意見が出尽くしたとなかなか言えないのですが、今の時点では、これでよろしいかなと思います。大丈夫でしょうか。

はい。そういうことで事務局案の通り、評価対象箇所を選定するということでよろしいでしょうか。

(一同)

同意

(恒友委員長)

ありがとうございます。

それでは、事務局案の通り了承します。

第2回評価委員会に向けて、事務局は選定箇所につきまして、個別評価調書の作成をお願いいたします。

それでは、本日の議事全体を通しまして何か御意見、御質問等ございますでしょうか。

(橋本委員長代理)

先ほども提言5でうまくいってない要因の解析で、研究センターが取り組まれていることと思います。昨年度も別途県の担当者との話の中で提案をさせていただいていますが、今回、令和6年度の事業箇所の報告を受けて年間約140件で、それが20年続いているとかなりの整備箇所となると思います。

これまでに評価委員会でモニタリング調査の報告を受けている数は多くないと思うので、何回も提案しておりますが、もう少し幅広く調査をされたらいかがかなと思っています。

また、私も最近知ったのですが、静岡県が公開している森林の三次元データだとか、そういったものを解析すると過去20年で取り組んできた整備箇所がどのようになっているかを、お金はかかると思いますが、人手はかけずに解析ができるのではないかと思います。調査費があるようでしたら、用意されて、研究センターが担当されるかわかりませんが、そういった形で全体の事業の効果が出ているのか等の調査をされてはどうかと。私の意見ですが、県のお考えがあれば教えていただきたい。

(森林計画課橋川技監)

御意見ありがとうございます。

事業のこれまでの20年の成果を、どのように振り返るかについて、第1期の10年が終了

した時に振り返りをやっており、その中で先ほど御意見のありましたデジタル的な手法ではなく、整備者や森林所有者にアンケートにより現況をお伺いしております。第2期の振り返りも、再度、実施する必要があると考えています。また、最新のデジタル技術の活用についてですが、今のデータの精度ですが、樹木の胸高直径や樹冠の高さなど、どこまで分かるかによりますが、今後、検討していきたいと思います。

（恒友委員長）

第2期の最終年度になりますが、第3期も必要な事業だと私は思っています。

第3期に繋げるためにもエビデンスをしっかりと整える必要があるのかなと思います。

もう少し言うと、くどいですが県民の税金を使っている事業ですので、いかに実効性を高め、この事業を推進していくかってことが重要で、冒頭に質問があったとおり、なかなかまだ理解が進んでいないというところもあります。しっかり事業を推進するということと、しっかり情報発信をすること。毎度、同じ形ではありますが、ただ期を追う毎に進展はあると思います。ですので、今年度は、一歩ずつ課題を解決して事業を進めていただけたらと思います。

（恒友委員長）

その他よろしいでしょうか。

倉田委員お願いします。

（倉田委員）

以前、今の成果について、データベース化を是非お願いしますというお話をさせていただいたかと思います。実際には、例えば、森林計画や災害情報であるとか、県のHPを見て、GISを開くと、ある程度のところまで絞り込んで情報を見られるのですが、そちらには反映されているのでしょうか。

（森林計画課橘川技監）

森林クラウドとして、一部ですが公開しているシステムでございまして、地図上で森の力再生事業を選択すると、このあたりが整備箇所であるといった場所のデータや整備者の情報は誰でも見られるようになっています。

ただし、それ以上細かい情報は載せることができない状況です。この場所で何年度に森の力再生事業を実施したということはわかります。

（倉田委員）

私が言った災害情報、森林計画だとかデータベースになっている方には反映されてないということか。そちらとは別のものということでしょうか。

（森林計画課深江課長）

森林計画課の深江です。

クラウドシステムというGISのシステムになりますが、そのシステム全体の中に様々な情報を載せています。基本は、森林簿と呼ばれる森林の基礎情報で、スギが何年生のものがどの程度あるだとか、そういった情報の他に倉田委員がおっしゃられた災害がどこで起きたのかという情報も載せています。今実施している森の力再生事業も何年度に何がどのくらい実施したかという情報も載せています。

（倉田委員）

それは、いつまでのものが更新されていますか。

（森林計画課深江課長）

令和6年度は、まだ載っていません。

令和5年度までの実績については確認できます。

（倉田委員）

はい。情報はやはり統一といいますか、同じシステムの中で見ることができると良いと思いますので、ある程度情報を載せているのであれば、今までの成果がそちらを絞り込んでいけば全て見られるということで非常に良いと思いましたので、引き続き、よろしくお願いします。

（恒友委員長）

その他、よろしいでしょうか。

はい。また資料を振り返って疑問が出ましたら、事務局に連絡をお願いしたいと思います。それでは、本日の議事についてはこれで終了したいと思います。私が前期に委員長代理として、前回の手交式に委員長と二人で県を訪問したのですが、そのときに県の方々には、この事業は、言葉は悪いですが、決して派手ではなく、どちらかというと地味なものであり、今、スタートアップ等そちらの華やかな取り組みが脚光を浴びてしまうと思うが、この事業は重要なことで、必要不可欠なことだからこれからもよろしくお願いしますという話をさせていただきました。その考え方は、今年も同じです。

来年以降もそうだと思いますけれども、この事業の重要性を皆さんで共有し、次の評価委員会に向けてまた対応していきたいと思います。

それでは、これにて本日の議事は終了ということで、議事の進行に御協力ありがとうございました。ここで進行を事務局にお返しいたします。

（産業政策課櫻井課長）

はい、ありがとうございました。

それでは、第2回の評価委員会の日程につきましては、改めて委員の皆様の日程を御確認した上で決定していきたいと考えております。後日、日程調整の御連絡をさせていただきますので、よろしくお願いいたします。

それでは、これをもちまして、令和7年度第1回森の力再生事業評価委員会を終了いたします。本日はありがとうございました。

令和7年度 第1回静岡県森の力再生事業評価委員会

日 時：令和7年8月4日(月)
午後2時から午後4時30分
会 場：静岡県産業経済会館特別会議室

次 第

1 開 会

2 あいさつ

3 内 容

議事① 森の力再生事業評価委員会の開催計画案

報告① 令和6年度評価委員会の提言への対応報告

報告② 令和6年度事業実績の報告

議事② 令和6年度事業分の評価対象箇所を選定案

4 その他

5 閉 会

資料一覧

1	森の力再生事業評価委員会の開催計画案	P1
2	令和6年度森の力再生事業評価委員会の提言への対応報告	P2
3	令和6年度森の力再生事業実績の報告	P3
4－1	令和6年度事業分の評価対象箇所を選定案	P6
4－2	令和6年度実績一覧表	P9
4－3	令和6年度森の力再生事業評価対象箇所位置図	P15

参考資料

参考1	静岡県もりづくり県民税条例	参-P1
参考2	静岡県森の力再生基金条例	参-P4
参考3	静岡県森の力再生事業評価委員会設置要綱	参-P6
参考4	静岡県森の力再生事業評価委員会運営要領	参-P8

1 静岡県森の力再生事業評価委員会 委員名簿（敬称略・50 音順）

氏 名	所属及び役職等	出欠
あさみ かよ 浅見 佳世	常葉大学大学院環境防災研究科 教授	○
いのうえ たかお 井上 隆夫	一般社団法人静岡県環境資源協会 事務局長	○
きむら みほ 木村 美穂	きむら工房代表	○
くらた あき 倉田 明紀	静岡県中小企業団体中央会	○
つねとも ひとし 恒友 仁	一般財団法人静岡経済研究所 専務理事	○
ならもと まさあき 檜本 正明	静岡大学農学部 准教授	○
はらだ けんいち 原田 健一	静岡県弁護士会	○
ますい のぼる 増井 昇	静岡県立大学食品栄養科学部 助教	○
やえがし たかこ 八重樫 隆子	静岡県消費者団体連盟	○
わくた けいこ 和久田 恵子	一般社団法人静岡県商工会議所連合会	○

2 静岡県森の力再生事業評価委員会 県出席者

所属	職	氏 名
経済産業部	農林水産統括部長	浅井 弘喜
政策管理局 産業政策課	産業政策課長	櫻井 剛
	産業政策班主任	栗原 周佐
森林・林業局 森林計画課	森林・林業局長	中山 淳也
	課長	深江 健
	技監	橘川 渉
	森の力再生班長	奥山 修
	森の力再生班技師	高田 航
農林事務所、 農林技術研究所森林・林業研究センター	農山村整備部長、技監他	

3 座席表

	委員長	委員長代理	
檜本委員			浅見委員
原田委員			井上委員
増井委員			木村委員
八重樫委員			倉田委員
和久田委員			恒友委員

スクリーン

榑原 研究 センター 技監	栗原 産業政策課 主任	櫻井 産業政策課 課長	浅井 農林水産 統括部長	中山 森林・林業局長	深江 森林計画課 課長	橘川 森林計画課 技監	奥山 森林計画課 班長
------------------------	-------------------	-------------------	--------------------	---------------	-------------------	-------------------	-------------------

賀茂 農林	東部 農林	富士 農林	中部 農林	志太榛原 農林	中遠 農林	西部 農林	西部 農林天竜 農林局	高田 森林計画課 主任
----------	----------	----------	----------	------------	----------	----------	-------------------	-------------------

傍聴席 10

令和7年度森の力再生事業評価委員会の開催計画案

資料1

時 期	内 容
第1回 8月4日	・ R6年度提言への対応報告 ・ R6年度事業実績の報告 ・ R6年度事業分の評価対象箇所を選定案
第2回 10・11月	・ R6年度事業分の評価対象箇所の検証 ・ モニタリング調査結果
現地調査 11・12月	・ <u>R6年度事業及び過年度事業の整備状況や植生の生育状況等の現地、波及効果の状況などの現地確認</u>
第3回 1・2月	・ <u>R4年度整備箇所及び経過観察箇所</u>の下層植生回復等の状況評価 ・ 評価及び提言内容のとりまとめ

令和 6 年度評価委員会の提言への対応報告

静岡県森の力再生事業評価委員会からの提言に対して、次のとおり対応する。

提 言	対 応
1 事業の効果が最大限に発揮されるよう、他の関連施策・市町との連携や、民間との協働を継続し、優良事例の普及に努めてください。	・農林事務所ごとに設置している森の力再生調整会議において、他部局及び市町等と整備候補地の情報共有を図り、整備を推進するとともに、民間との協働による、停電対策の予防伐採や流木発生源対策を行う。
2 事業実施に係る技術力の向上や作業安全の確保に取り組んでください。	・適切ななかり木処理を行うための安全講習会を開催し、労働災害の撲滅に取り組む。 ・整備者の安全管理体制の強化に向けて、パトロール等を通じて、現場毎の自主点検実施の徹底を指導する。
3 納税への一層の理解促進を図るため、ソーシャルメディア等を活用して、事業の目的や効果について、正確かつ分かりやすい情報発信に努めてください。	・整備地を活用し、荒廃森林の整備効果を実感できるイベントを開催する。 ・SNSの活用や市町広報誌への掲載など、幅広い年齢層に向けた分かりやすい広報を展開する。 ・タウンミーティングの開催等を通じて、県民に対してこれまでの事業成果を伝える。
4 事業の適正な運用の徹底を継続してください。	・交付申請を審査する際に、権利者の特定や整備者と権利者の合意状況の確認を徹底する。 ・整備者が、事業に係る要領等を遵守して遂行するよう、事業実施中の現地確認及び事業完了後の書類保管状況の確認等を行う。
5 事業効果の適正な評価に努めるとともに、これまでの知見を踏まえ、より効果的な森林整備に取り組んでください。	・整備者による、整備後 3 年目調査が適切に実施されるよう、調査マニュアルを活用して現地指導する。 ・これまでの調査データ等から下層植生の回復が遅れている要因を分析するとともに、効果的な森林整備方法の試行を進める。

令和 6 年度事業実績の報告

1 森の力再生事業 第 2 期（H28～R 6）実績

（単位：事業量 ha、事業費 百万円）

区 分			第 2 期実績			
			第 2 期 全体計画 (H28～R 7)	実績 (H28～R 5) A	R 6 実績 B	実績累計 (H28～R 6) A + B
事業量	人工林 再生整備	環境伐	10, 700	7, 940	1, 300	9, 240
		倒木処理	300	224	16	240
	竹林・広葉樹林等再生整備		200	172	17	189
合 計			11, 200	8, 336	1, 333	9, 669
事業費※			10, 018	7, 415	1, 266	8, 681

事業量の進捗率：86%（R6 末時点）

※事業評価・県民広報等事業費を含む

2 森の力再生事業 第 2 期（H28～R 6） 事務所別 整備面積

（単位：ha）

区 分	H28	H29	H30	R 1	R 2	R 3	R 4	R 5	R 6
賀 茂	86.9	74.8	85.0	78.4	98.1	59.6	68.1	84.5	126.4
東 部	146.9	124.2	174.9	208.5	243.7	160.7	85.6	121.6	189.0
富 士	39.2	85.7	78.3	124.7	77.7	68.7	64.1	78.3	100.2
中 部	192.3	217.7	216.0	265.8	266.0	122.0	111.5	145.2	240.7
志太榛原	210.2	182.4	191.5	202.2	213.5	180.3	177.0	203.5	254.0
中 遠	152.6	179.1	153.4	133.4	196.1	178.2	162.5	180.0	184.7
西 部	210.8	176.0	136.4	151.0	239.5	167.8	117.6	186.2	238.3
全 体	1038.7	1039.9	1035.5	1,164.1	1,334.5	937.3	786.5	999.3	1,333.3

（注）合計の不一致は四捨五入による

3 森の力再生事業 第2期（H28～R6） 事業費実績

(千円)

区 分		H28	H29	H30	R 1	R 2	R 3	R 4	R 5	R 6	備 考
森の力再生事業 整備事業費		908,516 (99%)	899,594 (98%)	927,831 (99%)	1,036,002 (99%)	1,120,866 (99%)	843,100 (99%)	691,061 (98%)	875,694 (97%)	1,259,042 (99%)	補助金等
事業評価・ 県民広報等 事業費	事業 評価	645	542	665	609	619	500	857	539	506	委員報酬、 委員旅費等
	県民 広報等	537	5,096	553	3,334	6,602	3,806	5,676	4,782	1,159	委託費・役務費（PR イベント、リーフレッ ト作成等） 需要費（ノベルティ 等）
	調査等	4,781	5,892	7,312	3,960	4,941	5,075	5,590	22,276	5,082	委託費（モニタリング 調査等）
	事務費 等	4,277	3,504	2,550	1,161	3,226	651	479	817	314	資料印刷費等
	小計	10,240 (1%)	15,034 (2%)	11,080 (1%)	9,064 (1%)	15,388 (1%)	10,032 (1%)	12,602 (2%)	28,414 (3%)	7,061 (1%)	
合計		918,756 (100%)	914,628 (100%)	938,911 (100%)	1,045,066 (100%)	1,136,254 (100%)	853,132 (100%)	703,663 (100%)	904,108 (100%)	1,266,103 (100%)	

4 森の力再生基金 第2期（H28～R6）実績

(千円)

区 分			H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
前年度繰越額①			58,827	118,211	221,576	278,379	237,426	97,913	247,165	558,334	659,704
積立	税収見込②	個人 県民税	777,000	796,000	801,000	802,000	806,000	804,000	799,000	809,000	814,000
		法人 県民税	194,000	203,000	192,000	193,000	182,000	190,000	207,000	193,000	197,000
		小計②	971,000	999,000	993,000	995,000	988,000	994,000	1,006,000	1,002,000	1,011,000
	運用益③		101	7	72	10	133	177	109	432	2,311
	計	④＝ ②＋③	971,101	999,007	993,072	995,010	988,133	994,177	1,006,109	1,002,432	1,013,311
	税収 差額	前年度税収 との差額等⑤	7,040	18,988	2,642	9,103	8,609	8,207	8,724	3,046	▲4,227
	合計 (取崩し可能額) ⑥＝①＋④＋⑤		1,036,968	1,136,206	1,217,290	1,282,492	1,234,168	1,100,297	1,261,997	1,563,812	1,668,787
取崩	森の力再生事業⑦		918,756	914,628	938,911	1,045,066	1,136,254	853,132	703,663	904,108	1,266,103
差引	年度末基金残額 (翌年度へ繰越) ⑥―⑦		118,211	221,576	278,379	237,426	97,913	247,165	558,334	659,704	402,684

※四捨五入のため歳入・歳出の合計が一致しない場合がある。

令和 6 年度事業分の評価対象箇所の選定（案）

1 令和 6 年度の実施箇所数

農 林 事務所	人工林再生整備事業		竹林・広葉樹等 再生整備事業	計
	一般型	災害対応型		
	緊急性を有する 人工林での環境伐	風倒被害地の緊急的 な倒木等の処理	緊急性を有する竹林、 広葉樹林での整理伐	
賀 茂	13	1	3	17
東 部	26	5	3	34
富 士	8	1	—	9
中 部	18	1	—	19
志太榛原	27	—	3	30
中 遠	7	—	5	12
西 部	21	1	—	22
計	120	9	14	143

2 評価対象箇所の選定

(1) 基準

次の①～⑤の基準により、30 箇所程度を選定する。

評価対象の選定基準	選定数等
① 事業実施にあたりトラブル等があった箇所	該当があれば全箇所
② 事業規模（面積）の大きい箇所	各農林事務所で上位の箇所
③ 事業単価が高額の箇所	各事業で上位 1 箇所
④ 極力、複数の事業体を選定	新規参入事業体等を優先 (②のうち重複があれば調整)
⑤ 列状伐採を実施した箇所	該当があれば優先

(参考 R5 事業：30/128 箇所 R4 事業：32/93 箇所 R3 事業：31/144 箇所)

(2) 評価対象箇所数

事務所	人工林再生整備事業						竹林・広葉樹等 再生整備事業			計
	一般型			災害対応型						
	基準 ①	基準②, ④, ⑤	基準 ③	基準 ①	基準 ②, ④	基準 ③	基準 ①	基準 ②, ④	基準 ③	
賀 茂		3						1		4
東 部		2	1		1				1	5
富 士		2			1					3
中 部		5								5
志太榛原		4						1		5
中 遠		2						1		3
西 部		4				1				5
計	23／120			3／9			4／14			30

【評価箇所の面積カバー率】選定箇所／実施箇所：498ha/1,333ha（37%）

3 選定箇所一覧

事業区分	事務所	番号	所在地	整備者	面積 (ha)	選定基準				
						① トラブル	② 面積	③ 単価	④ 整備者	⑤ 列状
一般	賀茂	1	賀茂郡西伊豆町大沢里	伊豆森林組合	20.78		○			
		2	賀茂郡松崎町池代	チーム北見フォレストワーカーズ	16.33		○			
		6	賀茂郡西伊豆町大沢里	(株)いなずさ林業	8.87		○		○	
	東部	14	伊豆市土肥	StarForests(株)	19.75		○			
		16	裾野市深良(図作小谷)	裾野市森林組合	12.81			○		○
		17	伊豆市修善寺①	(合)アラハラスヤッホ	10.47		○		○	
	富士	40	富士宮市上稲子	(株)フォレストラヴェル	20.61		○			
		41	富士市桑崎	静岡県森林組合連合会	18.38		○			
	中部	48	静岡市葵区足久保奥組 (ノトウサワ)	静岡市森林組合	38.95		○			
		53	静岡市清水区穴原 (大ガレ)	清水森林組合	13.47		○		○	
		54	静岡市葵区入島 (造里等)	鈴木林業	13.40		○		○	
		58	静岡市葵区梅ヶ島 (戸持)	オペレイト梅ヶ島	8.01		○		○	
		61	静岡市葵区牛妻	(有)森下木材	5.80		○		○	
	志太榛原	66	島田市川根町笹間下	森林組合おおいがわ	31.33		○			
		68	島田市川根町笹間渡	(有)ヤナザイ	17.53		○		○	
		71	島田市福用	(有)落合製材所	12.40		○		○	
		81	島田市伊久美	(株)兵庫親林開発	6.51		○		○	
	中遠	93	掛川市居尻	掛川市森林組合	56.35		○			
		94	周智郡森町葛布	森町森林組合	50.75		○			
	西部	100	浜松市天竜区春野町石切	春野森林組合	51.38		○			
		103	湖西市大知波	引佐町森林組合	13.66		○		○	
		104	浜松市天竜区龍山町瀬尻	龍山森林組合	13.47		○		○	
		105	浜松市天竜区佐久間町奥領家	佐久間森林組合	13.28		○		○	

事業区分	事務所	番号	所在地	整備者	面積 (ha)	選定基準				
						① トラブル	② 面積	③ 単価	④ 整備者	⑤ 列状
災害対応型	東部	2	伊豆市冷川	Star Forests(株)	7.64		○			
	富士	7	富士宮市上稲子	(株)フジタカの森	8.68		○			
	西部	9	浜松市天竜区横川	天竜森林組合	0.10			○		
竹林・広葉樹	賀茂	2	賀茂郡松崎町江奈	(株)ベーストレス	0.98		○		○	
	東部	5	伊豆市本柿木	(株)天城農林	2.10			○		
	志太	7	藤枝市西方	Re-フォレスト合同会社	1.84		○		○	
	中遠	10	掛川市下土方	(株)里山再生クラブ	2.56		○			
計 (ha、箇所)					498.19	0	27	3	14	1

※選定基準④および⑤は、②または③の内数

資料4－2（一般型）

※単価が高額な理由は、単価が120万円を越す整備箇所について記載

番号	事務所	市町	実施箇所	整備者	面積 (ha)	補助金額(円)	事業区分					作業種別事業量等										立木本数(本/ha)		木材木用途(m3)			過去に 評価対 象とな った 整備者	新規 参入 事業 体	備考
							人工林 一般型		人工林 災害対応型	竹林・広葉 樹	単価が高額な 理由	環境伐 (ha)	倒木処理 (ha)	整理伐 (ha)	簡易木製 構造物設 置(m)	簡易作業 路車道開 設(m)	簡易作業 路車道改 良(m)	簡易作業 路歩道開 設(m)	調査計画 (ha)	その他		伐採前	伐採後	伐採材積	簡易木 製構造物使用 量	伐採木 搬出量			
							補助金額 (円)	単価(円/ha)												補助金額 (円)	補助金額 (円)								
1	賀茂	賀茂郡西伊豆町	大沢里	伊豆森林組合	20.78	16,989,000	16,989,000	817,565				20.78						6,670	20.78			1,639	1,065	3,678			○		
2	賀茂	賀茂郡松崎町	池代	チーム北見フォレストワーカーズ	16.33	14,257,000	14,257,000	873,056				16.33			302			5,526	16.33			1,749	1,137	3,084	13		○		
3	賀茂	賀茂郡西伊豆町	宇久須	伊豆森林組合	13.24	9,926,000	9,926,000	749,698				13.24						3,817	13.24			1,457	947	2,084			○		
4	賀茂	賀茂郡西伊豆町	一色	チーム北見フォレストワーカーズ	12.90	11,635,000	11,635,000	901,938				12.90						5,548	12.90			1,719	1,118	2,395			○		
5	賀茂	賀茂郡松崎町	岩科北側	チーム北見フォレストワーカーズ	9.03	8,209,000	7,431,000	837,768	778,000			8.87	0.16		101			3,344	9.03			1,882	1,224	1,803	4		○		
6	賀茂	賀茂郡西伊豆町	大沢里	(株)いなづさ林業	8.87	7,947,000	7,947,000	895,941				8.87						2,830	8.87			1,968	1,279	1,886			○		
7	賀茂	賀茂郡松崎町	南郷	チーム北見フォレストワーカーズ	8.29	7,672,000	7,672,000	925,452				8.29						3,027	8.29			2,068	1,344	1,851			○		
8	賀茂	賀茂郡西伊豆町	宇久須	(株)いなづさ林業	6.06	4,409,000	4,409,000	727,558				6.06						2,446	6.06			1,187	771	777			○		
9	賀茂	賀茂郡松崎町	明伏	(株)いなづさ林業	5.23	3,789,000	3,789,000	724,474				5.23						1,682	5.23			1,271	826	718			○		
10	賀茂	賀茂郡西伊豆町	宇久須	(株)いなづさ林業	4.82	5,952,000	5,952,000	1,234,855			木製構造物	4.82			1,266			1,590	4.82			1,258	818	655	56		○		
11	賀茂	賀茂郡河津町	湯ヶ野	伊豆森林組合	4.24	3,023,000	3,023,000	712,972				4.24						929	4.24			1,615	1,049	739			○		
12	賀茂	賀茂郡河津町	逆川	(株)いなづさ林業	2.89	2,951,000	2,054,000	780,989	897,000			2.63	0.26		44			1,005	2.89			1,723	1,119	489	2		○		
13	賀茂	賀茂郡南伊豆町	青野	(株)いしい林業	2.44	1,766,000	1,766,000	723,770				2.44			40			752	2.44			1,350	877	356	2		○		列状
14	東部	伊豆市	土肥	StarForests(株)	19.75	14,357,000	14,357,000	726,937				19.75			300			2,013	19.75			1,729	1,123	3,687	13		○		
15	東部	裾野市	深良(格尾)	裾野市森林組合	19.22	24,732,000	24,732,000	1,286,785			木製構造物車道	19.22			3,200	3,243			19.22			1,337	869	2,776	141	1,600	○		列状
16	東部	裾野市	深良(図作小谷)	裾野市森林組合	12.81	19,303,000	19,303,000	1,506,870			木製構造物車道	12.81			2,600	2,600			12.81			1,467	953	2,030	114	1,615	○		列状
17	東部	伊豆市	修善寺①	(合)アラハラスヤッホ	10.47	8,000,000	8,000,000	764,088				10.47			1,600				10.47			1,140	740	1,289	70		○		
18	東部	伊豆市	菅引	StarForests(株)	8.40	8,270,000	8,270,000	984,524				8.40			601			1,064	8.40			1,915	1,244	1,737	26		○		
19	東部	伊東市	十足②	StarForests(株)	8.28	14,484,000	9,206,000	1,198,698	5,278,000			7.68	0.60		500	1,919			8.28			1,702	1,106	1,412	22	708	○		
20	東部	田方郡函南町	丹那	カートランス・アクト(有)	7.57	6,220,000	6,220,000	821,664				7.57			751			301	7.57			1,600	1,039	1,308	33		○		
21	東部	伊豆市	徳永	StarForests(株)	6.84	10,862,000	9,927,000	1,477,232	935,000		木製構造物車道開設	6.72	0.12		504	1,712			6.84			1,800	630	1,306	22	585	○		
22	東部	沼津市	宮本	愛鷹山森林組合	6.64	4,262,000	4,262,000	641,867				6.64				504			6.64			1,544	984	1,436		290	○		
23	東部	伊豆市	湯ヶ島(随昌)	(株)天城農林	6.63	4,267,000	4,267,000	643,590				6.63			80			1,009	6.63			1,300	845	931	4		○		
24	東部	御殿場市	深沢	御殿場市森林組合	6.59	8,643,000	8,643,000	1,311,533			車道開設	6.59			203	1,148			6.59			1,800	1,170	1,661	9	344	○		
25	東部	伊豆市	湯ヶ島(金山)	(株)天城農林	6.07	5,252,000	5,252,000	865,239				6.07			50			1,617	6.07			1,781	1,160	1,167	2		○		
26	東部	伊豆市	小土肥	(株)いなづさ林業	4.70	4,051,000	4,051,000	861,915				4.70						1,453	4.70			1,994	1,296	1,012			○		
27	東部	伊豆市	冷川	StarForests(株)	4.60	4,186,000	2,304,000	542,118	1,882,000			4.25	0.35		201			609	4.60	PR看板設置	214,300	1,100	715	505	9		○		
28	東部	伊豆市	小土肥(茅野)	(株)いなづさ林業	4.02	3,169,000	3,169,000	788,308				4.02						1,256	4.02			1,739	1,130	755			○		
29	東部	沼津市	戸田②	戸田森林組合	3.02	3,309,000	3,309,000	1,095,695				3.02			451			505	3.02			917	596	299	20		○		
30	東部	伊豆市	門野原	(合)アラハラスヤッホ	2.90	2,280,000	2,280,000	786,207				2.90			250			300	2.90			1,419	922	445	11		○		
31	東部	伊豆市	小土肥	(株)いなづさ林業	2.45	2,179,000	2,179,000	889,388				2.45						1,013	2.45			1,445	939	382			○		
32	東部	伊豆市	門野原②	(合)アラハラスヤッホ	2.41	1,860,000	1,860,000	771,784				2.41			250				2.41			1,590	1,034	537	11		○		
33	東部	沼津市	戸田	戸田森林組合	2.31	2,728,000	2,728,000	1,180,952				2.31			406			779	2.31			1,513	984	378	18		○		
34	東部	沼津市	大平	愛鷹山森林組合	2.10	2,281,000	2,281,000	1,086,190				2.10			212			518	2.10			2,779	1,667	630	9		○		

資料4－2（一般型）

※単価が高額な理由は、単価が120万円を越す整備箇所について記載

番号	事務所	市町	実施箇所	整備者	面積 (ha)	補助金額(円)	事業区分					作業種別事業量等										立木本数(本/ha)		木材木用途(m3)			過去に 評価対 象とな った整 備者	新規 参入 事業 体	備考
							人工林 一般型		人工林 災害対応型	竹林・広葉 樹	単価が高額な 理由	環境伐 (ha)	倒木処理 (ha)	整理伐 (ha)	簡易木製 構造物設 置(m)	簡易作業 路車道開 設(m)	簡易作業 路車道改 良(m)	簡易作業 路歩道開 設(m)	調査計画 (ha)	その他		伐採前	伐採後	伐採材積	簡易木 製構造 物使用 量	伐採木 搬出量			
							補助金額 (円)	単価(円/ha)	補助金額 (円)	補助金額 (円)										事業内容	事業費(円)								
35	東部	伊豆市	地藏堂	田方森林組合	1.91	1,779,000	1,779,000	931,414				1.91			280			1.91			2,100	1,365	433	12		○			
36	東部	伊豆市	修善寺②	(合)アラハラスヤッホ	1.90	1,573,000	1,573,000	827,895				1.90			200		400	1.90			1,017	661	209	9		○			
37	東部	駿東郡 小山町	竹之下	静東森林経営協同組合	1.66	1,112,000	1,112,000	669,880				1.66			100			1.66			1,519	987	353	4		○			
38	東部	伊豆の国市	浮橋	StarForests(株)	1.39	1,467,000	1,197,000	927,907	270,000			1.29	0.10		101		402	1.39			1,800	1,170	251	4		○			
39	東部	伊豆市	小土肥 (9林班)	(株)いなづさ林業	1.11	1,171,000	1,171,000	1,054,955				1.11					507	1.11			2,065	1,341	248			○			
40	富士	富士宮市	上稲子	(株)フォレストラヴェル	20.61	17,383,000	17,383,000	843,426				20.61			320		320	20.61			2,139	1,390	4,761	14		○			
41	富士	富士市	桑崎	静岡県森林組合連合会	18.38	14,416,000	14,416,000	784,331				18.38				2,379		18.38			1,244	809	2,470		797	○			
42	富士	富士宮市	猪之頭	富士森林組合	17.37	12,281,000	12,281,000	707,024				17.37			496	1,100		17.37			1,384	900	2,597	22	468	○			
43	富士	富士市	鵜無ヶ渚	富士市森林組合	15.30	19,468,000	19,468,000	1,272,418			木製構造物 車道開設	15.30			1,200	3,520		15.30			1,347	875	2,225	53	1,656	○			
44	富士	富士宮市	上稲子	(株)フォレストラヴェル	8.13	8,248,000	7,160,000	913,265	1,088,000			7.84	0.29		160		3,039	8.13			2,057	1,336	1,742	7		○			
45	富士	富士宮市	人穴	富士森林組合	4.84	3,602,000	3,602,000	744,215				4.84				500		4.84			1,876	1,219	981		245	○			
46	富士	富士宮市	上稲子	富士森林組合	4.15	4,065,000	4,065,000	979,518				4.15			800			4.15			1,832	1,190	821	35		○			
47	富士	富士宮市	内房	富士森林組合	2.76	2,289,000	2,289,000	829,348				2.76			600			2.76			1,130	734	337	26		○			
48	中部	静岡市	葵区足久保奥組 (ノトウサワ)	静岡市森林組合	38.95	29,269,000	29,269,000	751,451				38.95			200		3,250	38.95			1,900	1,140	7,993	9		○			
49	中部	静岡市	葵区足久保奥組 (大久保)	静岡市森林組合	31.16	27,795,000	27,795,000	892,009				31.16			400		5,900	31.16	レンタカー、敷鉄板レ ンタル料	543,752	2,019	1,211	6,794	18		○			
50	中部	静岡市	葵区鍵穴(ワミ)	静岡市森林組合	28.50	21,812,000	21,812,000	765,333				28.50			200		2,000	28.50			1,900	1,140	5,848	9		○			
51	中部	静岡市	葵区渡・細野	静岡市森林組合	20.48	22,478,000	22,478,000	1,097,559				20.48			200		3,210	20.48	モノレール設置・撤去	5,500,000	1,900	1,140	4,202	9		○			
52	中部	静岡市	葵区足久保奥組 (村奥)	静岡市森林組合	14.03	11,129,000	11,129,000	793,229				14.03			200		1,960	14.03			1,800	1,080	2,727	9		○			
53	中部	静岡市	清水区穴原 (大ガレ)	清水森林組合	13.47	11,050,000	11,050,000	820,341				13.47					1,200	13.47			2,200	1,320	3,200			○			
54	中部	静岡市	葵区入島 (造里等)	鈴木林業	13.40	10,904,000	10,904,000	813,731				13.40			200		2,910	13.40			2,245	1,459	3,249	9		○			
55	中部	静岡市	葵区郷島 (シンフチ)	静岡市森林組合	12.35	10,336,000	10,336,000	836,923				12.35			200		1,800	12.35			2,000	1,200	2,668	9		○			
56	中部	静岡市	葵区俵峰 (鈴尾坂)	静岡市森林組合	12.13	12,378,000	12,378,000	1,020,445				12.13			390		3,060	12.13			2,000	1,200	2,620	17		○			
57	中部	静岡市	葵区鍵穴 (カメクホ)	静岡市森林組合	9.40	7,755,000	7,755,000	825,000				9.40					2,050	9.40			1,800	1,080	1,827			○			
58	中部	静岡市	葵区梅ヶ島 (戸持)	オベレイト梅ヶ島	8.01	8,742,000	8,742,000	1,091,386				8.01			620		3,115	8.01	落石防止ネット設置撤 去	105,000	2,135	1,387	1,847	27		○			
59	中部	静岡市	清水区穴原 (大内沢)	清水森林組合	7.87	6,001,000	6,001,000	762,516				7.87					1,200	7.87			1,921	1,152	1,633			○			
60	中部	静岡市	葵区俵峰 (大三郎)	静岡市森林組合	6.37	5,927,000	5,927,000	930,455				6.37					1,750	6.37			2,100	840	1,445			○			
61	中部	静岡市	葵区牛妻	(有)森下木材	5.80	4,732,000	4,732,000	815,862				5.80					2,240	5.80			1,600	1,040	1,002			○			
62	中部	静岡市	葵区梅ヶ島 (板屋)	鈴木林業	5.35	5,768,000	5,768,000	1,078,131				5.35			250	650	400	5.35			1,620	1,053	936	11	189	○			
63	中部	静岡市	葵区入島 (湯の森山)	鈴木林業	4.26	3,990,000	3,990,000	936,620				4.26			215		1,620	4.26			1,895	626	872	9		○			
64	中部	静岡市	葵区横沢	萩原林業(株)	4.08	4,424,000	4,424,000	1,084,314				4.08			200	400		4.08			2,918	1,896	1,286	9	120	○			
65	中部	静岡市	葵区口仙俣	萩原林業(株)	3.23	2,377,000	2,377,000	735,913				3.23					500	4.40			2,000	1,300	698			○			
66	志太 榛原	島田市	川根町笹間下	森林組合おおいがわ	31.33	35,990,000	35,990,000	1,148,739				31.33			200		4,000	31.33	モノレール設置・撤去	13,417,067	2,238	1,455	7,573	9		○			
67	志太 榛原	藤枝市	岡部町青羽根	森林組合おおいがわ	25.37	20,805,000	20,805,000	820,063				25.37					2,700	25.37			2,716	1,765	7,442			○			
68	志太 榛原	島田市	川根町笹間渡	(有)ヤナザイ	17.53	15,078,000	15,078,000	860,125				17.53			200	268	3,146	17.53			2,456	1,597	4,650	9	87	○			
69	志太 榛原	島田市	川根町上河内	森林組合おおいがわ	13.07	10,151,000	10,151,000	776,664				13.07					2,400	13.07			2,361	1,535	3,333			○			
70	志太 榛原	榛原郡 川根本町	青部	森林組合おおいがわ	12.97	8,910,000	8,910,000	686,970				12.97			180		1,300	12.97			1,918	1,247	2,687	8		○			
71	志太 榛原	島田市	福用	(有)落合製材所	12.40	7,964,000	7,964,000	642,258				12.40			50		500	12.40			1,976	1,284	2,646	2		○			
72	志太 榛原	藤枝市	岡部町宮島	静岡県森林組合連合会	11.08	6,730,000	6,730,000	607,401				11.08					1,150	11.08			1,694	1,100	2,028			○			

資料4－2（一般型）

※単価が高額な理由は、単価が120万円を越す整備箇所について記載

番号	事務所	市町	実施箇所	整備者	面積 (ha)	補助金額(円)	事業区分					作業種別事業量等										立木本数(本/ha)		木材木用途(m3)			過去に 評価対 象とな った 整備者	新規 参入 事業 体	備考	
							人工林 一般型		人工林 災害対応型	竹林・広葉 樹	単価が高額な 理由	環境伐 (ha)	倒木処理 (ha)	整理伐 (ha)	簡易木製 構造物設 置(m)	簡易作業 路車道開 設(m)	簡易作業 路車道改 良(m)	簡易作業 路歩道開 設(m)	調査計画 (ha)	その他		伐採前	伐採後	伐採材積	簡易木 製構造 物使用 量	伐採木 搬出量				
							補助金額 (円)	単価(円/ha)	補助金額 (円)	補助金額 (円)										事業内容	事業費(円)									
73	志太 榛原	榛原郡 川根本町	元藤川	森林組合おおいがわ	10.79	9,100,000	9,100,000	843,373				10.79			200			1,300	10.79			2,672	1,737	3,114	9			○		
74	志太 榛原	藤枝市	滝沢	森林組合おおいがわ	10.49	8,180,000	8,180,000	779,790				10.49			100			2,000	10.49			2,770	1,800	3,138	4			○		
75	志太 榛原	島田市	川根町笹間上	(有)ヤナザイ	10.33	9,027,000	9,027,000	873,863				10.33			200	150		2,000	10.33			2,391	1,554	2,667	9	86		○		
76	志太 榛原	榛原郡 川根本町	水川	森林組合おおいがわ	10.20	8,170,000	8,170,000	800,980				10.20			100			1,200	10.20			2,136	1,388	2,353	4			○		
77	志太 榛原	島田市	伊久美	森林組合おおいがわ	9.65	7,314,000	7,314,000	757,927				9.65						1,600	9.65			2,136	1,389	2,226				○		
78	志太 榛原	島田市	川根町笹間上	森林組合おおいがわ	9.16	7,465,000	7,465,000	814,956				9.16					700	1,200	9.16			2,335	1,518	2,310				○		
79	志太 榛原	榛原郡 川根本町	東藤川	森林組合おおいがわ	8.93	7,760,000	7,760,000	868,981				8.93			100			1,200	8.93			2,696	1,752	2,600	4			○		
80	志太 榛原	島田市	川根町笹間上	(有)ヤナザイ	8.74	7,387,000	7,387,000	845,195				8.74			100	600		400	8.74			2,006	1,304	1,893	4	365		○		
81	志太 榛原	島田市	伊久美	(株)兵庫親林開発	6.51	4,277,000	4,277,000	656,989				6.51							6.51			2,113	1,373	1,485				○		
82	志太 榛原	藤枝市	岡部町玉取	静岡県森林組合連合会	6.42	4,450,000	4,450,000	693,146				6.42						350	6.42			2,171	1,411	1,506				○		
83	志太 榛原	榛原郡 川根本町	下長尾	森林組合おおいがわ	6.23	5,330,000	5,330,000	855,538				6.23			150			800	6.23			2,466	1,603	1,659	7			○		
84	志太 榛原	榛原郡 川根本町	水川	森林組合おおいがわ	5.41	5,160,000	5,160,000	953,789				5.41			200			1,000	5.41			2,400	1,560	1,402	9			○		
85	志太 榛原	榛原郡 川根本町	千頭	森林組合おおいがわ	4.67	4,260,000	4,260,000	912,206				4.67			200			800	4.67			2,480	1,612	1,251	9			○		
86	志太 榛原	藤枝市	瀬戸ノ谷高尾	森林組合おおいがわ	4.39	4,192,000	4,192,000	954,897				4.39						900	4.39			2,975	1,934	1,410				○		
87	志太 榛原	島田市	川根町葛籠	森林組合おおいがわ	3.85	3,060,000	3,060,000	794,805				3.85						750	3.85			2,300	1,495	956				○		
88	志太 榛原	榛原郡 川根本町	水川	森林組合おおいがわ	3.42	3,400,000	3,400,000	994,152				3.42			300			700	3.42			2,900	1,885	1,071	13			○		
89	志太 榛原	島田市	大代	森林組合おおいがわ	2.40	1,705,000	1,705,000	710,417				2.40						400	2.40			1,850	1,203	480				○		
90	志太 榛原	島田市	川根町家山	森林組合おおいがわ	2.38	2,475,000	2,475,000	1,039,916				2.38			150			400	2.38			2,700	1,755	694	7			○		
91	志太 榛原	島田市	川根町笹間上	森林組合おおいがわ	2.11	1,911,000	1,911,000	905,687				2.11						300	2.11			3,750	2,437	854				○		
92	志太 榛原	島田市	野田	特定非営利活動団体 里山どんぐりの会	1.23	1,760,000	1,760,000	1,430,894			木製構造物 歩道開設	1.23			225			655	1.23			2,000	1,300	266	10			○		
93	中遠	掛川市	居尻	掛川市森林組合	56.35	43,850,000	43,320,000	769,860	530,000			56.27	0.08		3,529	306	1,237		56.35			1,897	1,138	11,529	155	120		○		
94	中遠	周智郡森町	葛布	森町森林組合	50.75	39,350,000	39,350,000	775,369				50.75			1,500				50.75			2,195	1,317	12,029	66			○		
95	中遠	周智郡森町	間詰	森町森林組合	29.40	21,860,000	21,860,000	743,537				29.40			1,000				29.40			2,100	1,260	6,668	44			○		
96	中遠	掛川市	倉真	田旗造園建設(株)	21.18	17,500,000	17,500,000	826,251				21.18			1,000				21.18			1,813	1,088	4,147	44			○		
97	中遠	掛川市	倉真	掛川市森林組合	12.78	15,100,000	11,781,000	1,015,603	3,319,000			11.60	1.18		1,900			383	12.78			1,886	1,132	2,363	84			○		
98	中遠	磐田市	敷地	(有)天竜フォレスター	5.69	3,690,000	3,690,000	648,506				5.69			107				5.69			1,604	962	986	5			○		
99	中遠	菊川市	丹野	(株)西島土木	3.70	4,740,000	4,740,000	1,281,081			車道開設	3.70			186	601			3.70			2,075	1,245	829	8	184		○		
100	天竜	浜松市	天竜区春野町 石切	春野森林組合	51.38	44,303,000	44,303,000	862,262				51.38				3,184		217	51.38			2,167	1,300	12,023		935		○		
101	天竜	浜松市	天竜区春野町 長蔵寺	春野森林組合	16.31	14,165,000	14,165,000	868,486				16.31				736	700	1,032	16.31			1,956	1,173	3,445		284		○		
102	天竜	浜松市	天竜区春野町 豊岡	春野森林組合	14.56	18,487,000	18,487,000	1,269,712			車道開設	14.56				2,151		1,282	14.56			2,600	1,560	4,088		654		○		
103	天竜	湖西市	大知波	引佐町森林組合	13.66	9,419,000	9,419,000	689,531				13.66					1,141		13.66			2,300	1,495	3,393				○		
104	天竜	浜松市	天竜区龍山町 瀬尻	龍山森林組合	13.47	7,826,000	7,826,000	580,995				13.47							13.47			1,700	1,105	2,473				○		
105	天竜	浜松市	天竜区佐久間 町奥領家	佐久間森林組合	13.28	8,022,000	8,022,000	604,066				13.28						1,516	13.28			1,800	1,170	2,582				○		
106	天竜	湖西市	大知波	引佐町森林組合	13.19	7,786,000	7,786,000	590,296				13.19					603		13.19			1,981	1,288	2,822				○		
107	天竜	湖西市	大知波	引佐町森林組合	11.47	7,515,000	7,515,000	655,187				11.47					1,165		11.47			2,100	1,365	2,601				○		
108	天竜	浜松市	天竜区佐久間町 佐久間	水窪町森林組合	10.82	7,837,000	7,837,000	724,307				10.82						1,019	10.82			2,400	1,560	2,805				○		
109	天竜	浜松市	天竜区水窪町 地頭方	水窪町森林組合	10.76	6,932,000	6,932,000	644,238				10.76							10.76			2,283	1,484	2,653				○		
110	天竜	浜松市	天竜区水窪町 地頭方	水窪町森林組合	10.55	7,020,000	7,020,000	665,403				10.55							10.55			2,000	1,300	2,279				○		

資料4－2（一般型）

※単価が高額な理由は、単価が120万円を超す整備箇所について記載

番号	事務所	市町	実施箇所	整備者	面積 (ha)	補助金額(円)	事業区分					作業種別事業量等												立木本数(本/ha)		木材木用途(m3)			過去に 評価対 象とな った 整備者	新規 参入 事業 体	備考
							人工林 一般型		人工林 災害対応型	竹林・広葉 樹	単価が高額な 理由	環境伐 (ha)	倒木処理 (ha)	整理伐 (ha)	簡易木製 構造物設 置(m)	簡易作業 路車道開 設(m)	簡易作業 路車道改 良(m)	簡易作業 路歩道開 設(m)	調査計画 (ha)	その他		伐採前	伐採後	伐採 材積	簡易木 製構造 物使用 量	伐採木 搬出量					
							補助金額 (円)	単価(円/ha)	補助金額 (円)	補助金額 (円)										事業内容	事業費(円)										
111	天竜	浜松市	天竜区水窪町 地頭方	水窪町森林組合	8.73	7,403,000	7,403,000	847,995				8.73						1,313	8.73			2,700	1,755	2,546			○				
112	天竜	浜松市	天竜区龍山町 瀬尻	龍山森林組合	8.62	7,081,000	7,081,000	821,462				8.62				650			8.62			1,700	1,105	1,583		200	○				
113	天竜	浜松市	天竜区佐久間町 佐久間	水窪町森林組合	6.92	5,287,000	5,287,000	764,017				6.92						921	6.92			2,400	1,560	1,794			○				
114	天竜	浜松市	天竜区水窪町 奥領家	水窪町森林組合	6.70	4,507,000	4,507,000	672,687				6.70							6.70			2,092	1,360	1,514			○				
115	天竜	浜松市	天竜区上野	天竜森林組合	5.93	6,249,000	6,249,000	1,053,794				5.93				1,050			5.93			2,200	1,421	1,409		684	○				
116	天竜	浜松市	天竜区水窪町 奥領家	水窪町森林組合	4.86	3,278,000	3,278,000	674,486				4.86						317	4.86			2,200	1,430	1,155			○				
117	天竜	浜松市	天竜区水窪町 地頭方	水窪町森林組合	4.50	3,523,000	3,523,000	782,889				4.50						1,106	4.50			2,200	1,430	1,069			○				
118	天竜	浜松市	天竜区佐久間町 浦川	天竜森林組合	4.41	2,873,000	2,873,000	651,474				4.41							4.41			2,300	1,488	1,095			○				
119	天竜	湖西市	太田	引佐町森林組合	4.07	4,237,000	4,237,000	1,041,032				4.07					2,545		4.07			2,200	1,430	967			○				
120	天竜	浜松市	浜名区引佐町 渋川	引佐町森林組合	3.96	2,519,000	2,519,000	636,111				3.96							3.96			1,903	1,237	814			○				

資料4－2（災害対応型）

※単価が高額な理由は、単価が600万円を越す整備箇所について記載

番号	事務所	市町	実施箇所	整備者	面積 (ha)	補助金額 (円)	事業区分				単価が高額 な理由	作業種別事業量等										木材木用途(m3)			被害原因	過去に 評価対 象とな った 整備者	新規 参入 事業 体
							人工林 一般型	人工林 災害対応型		竹林・広葉 樹		環境伐 (ha)	倒木処理 (ha)	整理伐 (ha)	簡易木製 構造物設 置(m)	簡易作業 路車道開 設(m)	簡易作業 路車道改 良(m)	簡易作業 路歩道開 設(m)	調査計画 (ha)	その他		伐採 材積	簡易木 製構造 物使用 量	伐採木 搬出量			
								補助金額 (円)	補助金額 (円)											単価(円/ha)	補助金額 (円)						
1	賀茂	賀茂郡河津町	逆川	(株)いなずさ林業	7.76	9,431,000	3,466,000	5,965,000	2,952,970		5.74	2.02		100			2,324	7.76			996	4		台風（時期不明）	○		
2	東部	伊豆市	冷川	StarForests(株)	7.64	8,575,000	3,469,000	5,106,000	2,985,965		5.93	1.71		400			1,659	7.64			844	18		令和元年10月台風19号	○		
3	東部	伊豆市	湯ヶ島	StarForests(株)	5.30	9,679,000	4,539,000	5,140,000	4,942,308		4.26	1.04		417	1,031			5.30			736	18	430	令和元年10月台風19号	○		
4	東部	伊東市	池	高原林産(株)	4.96	9,720,000	3,385,000	6,335,000	3,539,106		3.17	1.79		54	1,358			4.96			869	2	547	令和元年9月台風15号	○		
5	東部	伊東市	十足①	StarForests(株)	1.79	8,001,000		8,001,000	4,469,832			1.79		98			635	1.79					4	令和元年10月台風19号	○		
6	東部	伊豆市	湯ヶ島 (宿)	(株)天城農林	1.48	3,078,000		3,078,000	2,079,730			1.48						1.48						令和元年10月台風19号	○		
7	富士	富士宮市	上稲子	㈱フジタカの森	8.68	13,691,000	5,873,000	7,818,000	3,670,423		6.55	2.13		616			2,376	8.68			1,820	27		平成30年9月台風14号	○		
8	中部	静岡市	葵区寺島	静岡市森林組合	1.81	3,650,000	953,000	2,697,000	5,738,298		1.34	0.47		200			500	1.81			304	9		台風（時期不明）	○		
9	天竜	浜松市	天竜区横川	天竜森林組合	0.10	835,000		835,000	8,350,000	被害率等		0.10		11				0.10				0	70	令和5年6月台風2号	○		

資料4-2（竹林・広葉樹林等）

※単価が高額な理由は、単価が800万円を超す整備箇所について記載

番号	事務所	市町	実施箇所	整備者	面積 (ha)	樹種	補助金額 (円)	事業区分				単価が高額 な理由	作業種別事業量等										木材木用途(m3)			過去に 評価対 象とな った 整備者	新規 参入 事業 体	
								人工林 一般型	人工林 災害対応型	竹林・広葉樹			環境伐 (ha)	倒木処理 (ha)	整理伐 (ha)	簡易木製 構造物設 置(m)	簡易作業 路車道開 設(m)	簡易作業 路車道改 良(m)	簡易作業 路歩道開 設(m)	調査計画 (ha)	その他		伐採 材積	簡易木 製構 造物 使用 量	伐採木 搬出量			
										補助金額 (円)	補助金額 (円)										補助金額 (円)	単価(円/ha)						事業内容
1	賀茂	賀茂郡南伊豆町	上小野	チーム北見フォレストワーカーズ	1.63	その他広葉樹	6,040,000			482,000	5,558,000	4,308,527			0.34	1.29	40			756	1.63			209	2		○	
2	賀茂	賀茂郡松崎町	江奈	(株)ベーストレス	0.98	その他広葉樹	4,185,000				4,185,000	4,270,408				0.98				626	0.98			212				○
3	賀茂	賀茂郡南伊豆町	二條	(株)アグリビジネスリーディング	0.95	その他広葉樹	4,851,000				4,851,000	5,106,316				0.95		452		445	0.95			298			○	
4	東部	伊豆市	大野	カートランス・アクト(有)	9.52	その他広葉樹	1,269,000	23,725,000			21,823,000	3,939,170		3.98		5.54	200				9.52			688	9		○	
5	東部	伊豆市	本柿木	(株)天城農林	2.10	スギ、ヒノキ、タケ	3,826,000	3,826,000	449,000		1,735,000	8,675,000	木製構造物車道開設	1.74	0.16	0.20	101	482	163		2.10			301	4	200	○	
6	東部	伊豆の国市	菰山多田	ツチャ農林(株)	0.46	タケ	23,725,000	1,269,000			1,269,000	2,758,696				0.46					0.46						○	
7	志太榛原	藤枝市	西方	Re-フォレスト合同会社	1.84	タケ	13,000,000				13,000,000	7,065,217				1.84					1.84	竹枯殺処理	2,627,200					○
8	志太榛原	島田市	落合	(株)里山再生クラブ	0.70	タケ	4,280,000				4,280,000	6,114,286				0.70					0.70	PR看板設置竹枯殺処理	498,520				○	
9	志太榛原	島田市	湯日	(株)里山再生クラブ	0.41	タケ	2,790,000				2,790,000	6,804,878				0.41					0.41	PR看板設置竹枯殺処理	371,440				○	
10	中遠	掛川市	下土方	(株)里山再生クラブ	2.56	タケ	15,840,000				15,840,000	6,187,500				2.56					2.56	PR看板設置竹枯殺処理	1,269,920				○	
11	中遠	菊川市	三沢	(株)西島土木	1.42	スギ、タケ	8,200,000		376,000		7,824,000	6,574,790			0.23	1.19	24				1.42	PR看板設置竹枯殺処理	923,685		1		○	
12	中遠	菊川市	西方	(株)里山再生クラブ	0.50	タケ	3,920,000				3,920,000	7,840,000				0.50					0.50	PR看板設置竹枯殺処理	413,800				○	
13	中遠	菊川市	半済	(株)西島土木	0.18	タケ	1,400,000				1,400,000	7,777,778				0.18					0.18	PR看板設置竹枯殺処理	326,175				○	
14	中遠	御前崎市	新野	(株)西島土木	0.17	タケ	1,400,000				1,400,000	8,235,294	PR看板竹枯殺処理			0.17					0.17	PR看板設置竹枯殺処理	313,050				○	

令和6年度森の力再生事業地位位置図

資料4-3

- : 一般型施工地
 - : 災害対応型施工地
 - : 竹林・広葉樹施工地
- (※うち、○は評価対象箇所案)

